

# 後輩育成

広島県作業療法士会 学術部東部地区研修会  
2020年12月13日(日) 三原市中央公民館 第1講義室

本日のメニュー

いろいろなことを  
皆様と確認しながら  
進めて参ります

起 源流があるとするならば  
承 後輩育成って？  
転 隣人との意見交換（コロナ禍版）  
結 私とのQ&A（ピンポン質疑）

転？

広島県の皆様  
ただいま！

今日のお機会を頂き  
ありがとう

やっさ工房にしまち  
荻山和生

# 起 源流があるとするならば①

京都府作業療法士会ニュース「源流」 2019年5月号より

- (略) 当時の作業療法士数は日本作業療法士協会五十年史の添付資料によると、国内で有資格者1268名、協会員は994名でした。同資料内で都道府県別会員データは、1993年のものが最も古く、近畿二府四県の会員を合計すると717名。同年全国の会員数は5490名なので、そこから逆算すると、1982年当時の近畿圏内の会員数は130名になります。
- このわずかな人数で、日ごろの臨床活動の他、士会事務局、学術・教育・渉外等、現在の士会活動の源流を作り上げてこられた先輩方に、あらためて心から敬意を表し御礼を申し上げます。
- それから37年、ありがたいことに京都府作業療法士会は、認知症初期集中支援チーム員養成研修や、認知症カフェ支援アドバイザー派遣事業などを京都府から受託させていただき、認知症関連において作業療法士は高い評価を得ています。
- これらは京都府作業療法士会会員の努力はもとより、さらに源流を作ってきた全国の作業療法士の先輩方が、これまで認知症の人やご家族をしっかりと支え、その効果を成果資料として残してきたからに他なりません。京都府では、今後さらに広がっていくであろう“認知症の人と家族への在宅支援”において、現時点でその源流を作り上げたと言っても過言ではないでしょう。

- ですが、その源流も新しい大きな流れが出来ればすぐに取り込まれますし、源流に新しい水が流れなければ、枯れて消えてしまうことすらあります。
- どうやら源流とは過去のものとして捉えるのではなく、現在に大きな流れが残っていることに対応して使う言葉のようです。そう考えると、未来から振り返れば今臨床をしている皆様1人ひとりが流れを作っているということが事実であり、自らが、将来の流れの源流になる可能性に満ちていると言えます。
- 時代に応じた生活支援の本流は、どの時代であっても、湧き水のような小さな流れから生まれたはずです。少数派になることや、他の人が行っていない新しいことにチャレンジすることを恐れず、個性がにじみ出るような臨床活動と士会活動が広がることを心から願っています。

# 起 源流があるとするならば②

一般社団法人 日本作業療法士協会倫理綱領 (昭和61年6月12日, 第21回総会時承認)

- A) 作業療法士は、人々の健康を守るため、知識と良心を捧げる。
- B) 作業療法士は、知識と技術に関して、つねに最高の水準を保つ。
- C) 作業療法士は、個人の人権を尊重し、思想、信条、社会的地位等によって個人を差別することをしない。
- D) 作業療法士は、職務上知り得た個人の秘密を守る。
- E) 作業療法士は、必要な報告と記録の義務を守る。
- F) 作業療法士は、他の職種の人々を尊敬し、協力しあう。
- G) 作業療法士は、先人の功績を尊び、よき伝統を守る。
- H) 作業療法士は、後輩の育成と教育水準の高揚に努める。
- I) 作業療法士は、学術的研鑽及び陶冶をめざして相互に律しあう。
- J) 作業療法士は、公共の福祉に寄与する。
- K) 作業療法士は、不当な報酬を求めない。
- L) 作業療法士は、法と人道にそむく行為をしない。

源流とは拠り所であり、未来の目標  
• 皆様にとっての拠り所は？

• 皆様が目指す未来は何？

• それを継承したい？ YES / NO

一般社団法人 日本作業療法士協会ホームページ、他「作業療法士教育の最低基準」改訂第4.1 版

世界作業療法士連盟 (WFOT) 「作業療法士教育の最低基準」2016 年改訂版 p80 (2019年3月)

# 承 後輩育成って？①「後輩」とは誰？

Q1. 「作業療法士としての後輩」でいいですか？

社会人としての次世代の方がいいですか？

Q2. 「先輩」である皆さんの立場は？

育成する側、される側、その両方

どのような後輩を想定したらよいでしょう？

皆さんの拠り所を継承する人？

未来を実現する人？

作業療法士を辞めたい人も含めますか？

【参考】現在の学生は・・・

実習指導者を、「先輩≡育成する側」とすると ⇒

## 1. 学生の現代気質

(略)無駄な努力や衝突は避け、大きな夢や高望みが無く、合理性を重視する傾向があると言われる。臨床実習では、やる気がないと誤解されることもある。また、現代の若者は、ごく一部の仲間たちとの対等なつながりを重んじ、組織の縦社会になじめないと言われる。臨床実習では、敬語が使えないとか先輩に対する態度としてどうなのかとか指摘を受けることもある。更に、学生相談の世界では最近、「悩めない学生」が増えているという。

近年の大学生の心理的特徴として、葛藤を抱えたり、自分の感情と向き合うことができなくなってきていて、悩むというレベルを乗り越えて、すぐに「落ち込む」あるいは「身体化する」傾向が強くなっているというのだ。悩めない学生は、臨床実習で少し指摘されると、体調を崩して休んでしまうことになる。

しかしながら、上記のような画一的な見方は、学生個々の真の特徴や変化を覆い隠してしまう恐れがある。もちろんレッテルをはるという行為は、複雑な人間関係を理解し物事を進めるためには不可欠だともいえる。そこで、実習指導者に必要なのは、レッテルを毎日のがす努力である。

# 承 後輩育成って？②「育成」とは何？

Q3. 育成すべきは何？（育成する側の視点）

ここまでも  
いくつもの相違点があったはずですよ。

Q4. 育成されたいことは何？（育成される側の視点）

『後輩育成』とは  
これらの相違があって当然の  
様々な前提を抱えた個々を  
『地道に育て、育てられる過程』  
しばしば褒めながらも  
時には厳しく  
時には突き放し（互いに距離をとり）  
それら全てが必要で、相手に応じ、  
時に応じて変化するものと言えます。

Q1 の答えとして

「作業療法士としての私のコピーを作る」

⇒ ではないですよ

# 転 隣人との意見交換（コロナ禍版）

Q1.後輩育成の後輩とは誰？

同じ職場、関連施設、実習生、知人、他  
どういう特徴の後輩？

Q2.先輩としてのあなたの立場は何？

上司、関連業者、実習指導者、知人、他  
何を求められている先輩？

Q3.後輩に育成したいことは何？

（ ）のちから、他

Q4.あなたが育成されたいことは何？

（ ）のちから、他

【これまでに私が聞いてきた先輩たちの意見】

- 言葉のキャッチボールが出来ない
- 後輩の欲求を満たす方法は妥当か
- 雑談に入れない、間をとるのが下手
- 患者、家族の懐に飛び込むことが出来ない
- 振り返りができない／記録が以前とつながらない
- 少しの努力で十分頑張っていると評価してほしいがる
- 「もう結構です」という感じで先輩や情報に触れている
- 自分たちは後輩のことをわかろうとしているのだろうか
- 理解が難しい言葉を聞いた時に「違うと思う」という、顔に出す
- 期待することは良くないことか、期待しすぎると何が良くないのか
- 背中を見て行うことはできず、説明が必要、つなげて考えられない
- 後輩はつなげて考えられないけれど、私はなぜつなげて考えられるのか
- 怒られないこと＝注意されない＝認められている≠諦められていることが伝わらない

# 転 隣人との意見交換（Q&A準備用）

隣人との意見交換で絞り込んだ質問事項作り

例：（ A ）という立場の私が、（ B ）の力を後輩OTに身に付けてもらいたい場合  
（ C ）を試したが上手くいかなかったので、考えられる理由あるいは対案がほしい。

# 結 私とのやり取り（ピンポン質疑）

皆様からの質問に「金魚鉢（メタミーティング）形式」で回答します。

# あなたにとって作業療法とは何ですか？

## 作業療法ジャーナル，2016年7月

- 心身が思うように機能しなくて「悲しい」ことなどから，（例えば指先が）少しずつ動きやすくなることで「嬉しい」に近づくこと。
- 日常の活動が思うようにできなくて「苦しい」「辛い」生活から，（例えば夕飯作りを）楽に自然に出来るようになって「楽しい」に近づくこと。
- 人前が億劫で「外に出たくない」日々から，（例えば友人と旅行を）「してみたい」に近づくこと，つまり参加したくなること。
- 作業を利用者と共に行いながら，この心身機能，活動と参加のいずれもが快方へと向かうまでの道のり—それが作業療法であり，その道の伴走者が作業療法士なのかなと思っています。
- 最後まで悩んだのは「育む」という言葉です。作業療法は，利用者との協業が基本。ですから作業療法士と利用者双方が互いに伸びていく過程。そんなイメージが私にあり，一方が他方を育てる過程というよりも，共に育っていく道程と表す方が現実に近いと思い，最終的にこうなりました。

作業と共に  
「嬉しい」「楽しい」  
「してみたい」を  
育む道のり

作業療法士は何をする？

環境を整え  
活動を駆使して  
参加を促す。  
集団におけるわずかな  
参加を見つけ賞賛して  
活動をものにする。

# 作業療法の良さをわかってもらうには 日本の文化を変えるくらいの覚悟が必要！

- どうして看護・介護やソーシャルワーカーやPTが分りやすく求められるのでしょうか？
- それは「嬉しい」を提供しているから
- 「嬉しい」は寝ててもらえるプレゼントからでも感じられる感覚や感情
- 「楽しい」は能動的に行動している時に感じられる感覚や感情
- 「してみたい」は不慣れで未経験のものへのあこがれや好奇心と実現可能性との調和などにより育てられる意思や志向
- 今、日本では多くの人が「嬉しい」に最上級の価値を置くようになってしまっていないのでしょうか？

(例：旅館のサービス)

	嬉しい	楽しい	してみたい
欲しかったものをもらった時 or // ことをしてもらった時	◎	X	X
もらうこと + 能動的な行動が伴う時	○	◎	X
あこがれや好奇心 + 実現可能性を適度に感じる時	△X	○	◎

心身機能や身体構造を手術でも薬でも治してもらった時

活動 → 活動が自分で出来た時、  
介助されながらも結果が伴った時

参加 → 自分にとって不慣れなことがある  
それに向けて挑戦する準備のある時

# 活動と参加の優位性とその影響 (改: OT教育版)

メリット	デメリット	参加	活動
<p>人々の挑戦がいっぱい 失敗が許される雰囲気 達成感や元気を実感しやすい ゼネラリストを志向しやすい 新しいことを行う動機付け</p> <p>障害者の新たな社会参加などへ 挑戦する機運が高まりやすい</p>	<p>ガイドラインが窮屈に感じる 失敗が多発しやすい 非効率的で迷走しやすい 意見の衝突がおこりやすい 明確な答えの出にくい苦しみ</p> <p>OT単独で挑戦の継続には リスクが大きく抵抗を受けやすい</p>		
<p>成果を出すには効率的 目的の一致と評価が容易 マニュアル化等による管理が容易 支持者・後継者が増えやすい 安心感・安定感を得やすい</p> <p>ガイドラインが明確な分野の 専門家の養成がしやすくなる</p>	<p>同質の人で集まり閉鎖的になりがち 現状に満足し変化を志向しにくい 過度に分業が進むと連携しづらい 競争が激化すると優劣が明確化 想定外への対処が麻痺しやすい</p> <p>既存の安全な点だけを継続しようと して新しい挑戦に後ろ向き</p>		

# 活動と参加の関係再考

1. 人にとって、はじめての経験はほとんどが挑戦であり、挑戦は他者の場や状況や現実への参加。
2. それを繰り返して続けていると習慣化し、無意識化して安定して行えるようになります。⇒参加は活動になっていく。
3. 社会はそれを、技能とか技術とか〇〇力と呼び、大人になるためや就職に必要なものとしている。  
(例：技術力≡活動性の高さ)
4. ある活動が身に付いて慣れてくると（またはその時期と並行して）、次の挑戦がはじまる。（はじめたくなる：ただし人によって異なる）
5. 活動と参加は鶏と卵、呼気と吸気のような関係。生涯繰り返され、たえず循環することで双方が生きてくるもの。
6. 人は、この活動と参加を繰り返すことで成長し健康を保つ。
7. ただし、精神障害が伴うと、環境の影響が心身機能にまで及びやすい。

活動と参加の定義 障害者福祉研究会：国際生活機能分類—国際障害分類改訂版，中央法規出版，p13，2002

- 活動とは「課題や行為の個人による遂行のことである」参加とは「生活・人生場面への関わりのことである」

【再考】活動とは、（自分の）課題や行為の遂行のこと。

参加とは、（他者の）生活・人生場面への関わりのこと。

慣れ親しんだこととは異なる  
新しい場やペースへの挑戦

## 転 隣人との意見交換用紙（回収：無記名 可）

※この用紙は回収させていただきます。必要な記載がありましたら、別紙に書き写してください。

この後の質疑に利用します。周囲の人にも見えやすい文字の大きさでご記入ください。

Q1.後輩育成の後輩とは誰？

Q2.先輩としてのあなたの立場は何？

Q3.後輩に育成したいことは何？

Q4.あなたが育成されたいことは何？

▶ 苅山とやり取りしたいこと